

【青少年守伝創新委員会】

委員会テーマ

『みらいを創る子供たちを育む』

委員長 尾林 大生

副委員長 首藤 俊祐

運営幹事 河野 勉也

基本方針

現在、青少年を取り巻く環境は急速なグローバル化や情報通信技術の進展に伴い、人・物・金・情報や様々な文化・道徳観が国境を越え流動化する変化の激しい社会が到来しています。その様な社会に措いては郷土への理解と愛情、挑戦意欲と使命感、多様性を受け入れ協働する力、知識に基づき論理的に考え伝える力、思い遣りと責任感を持ったリーダーを育むことによって、自分の夢に挑戦し自己実現を図れる人を輩出することが必要です。

まずは、郷土愛を得るために、伝統文化・おもてなしの心を人々が守り伝えることの尊さを学ぶ機会を創出し、郷土に自信を持ち良い所を他人に発信していける人を輩出します。そして、青少年が夢に挑戦し努力する大切さを学ぶために、目標となるスポーツ事業を開催し、その活動の中から生まれる感動で使命感を芽吹かせ夢への挑戦意欲を駆り立てます。さらに、多様性を受け入れ協働する力を養うために、子供たちと共に多くの場所で色々な人と触れ合うことで、柔軟性をもって他者を受け入れ課題解決の本質を導く力を引き出します。また、知識に基づき論理的に考え伝える力を養うために、地域の事業でおもてなしをする場を提供し、自分の知識を他の為に働かせた時その力は何倍にもなることを認知してもらいます。そして、物事の良い面を見つけ相手の立場を思い遣る心と責任感を得るために、未知なところに自分たちで赴き体験することで、情報に左右されず信念貫き修練と奉仕の心を醸成します。さらに、人を動かす本質を知るために、子供・市民・故郷が一体となる場を創造し、子供たちに友情と感動こそが人を動かすことを知ってもらいます。

青少年が変化の多い社会において修練を真正面から受け止めて打破していくための生きぬく力を身にまとい、夢を実現する工程を経験する中で磨かれる本当の意味での心の豊かさや強さによって、失敗を恐れず自分の夢に挑戦し自己実現を行える青少年を輩出します。

重点方策	1. 青少年育成の実施に関すること
事業名	1. みんなで神輿をつくろう会 2. 第34回わんぱく相撲予選 第22回別府場所 3. 別府子供おもてなし隊 4. サマースクール 5. 子供たちとクリスマスソングを歌う会

年間事業予算	
1. 事業名	みんなで神輿をつくろう会
日程	4月(予定)
予算	¥30,000
内容	子供たちに神輿を創作し発表してもらう事業
2. 事業名	第34回わんぱく相撲予選 第22回別府場所
日程	6月(予定)
予算	¥100,000
内容	わんぱく相撲全国大会予選として別府場所を執り行う
3. 事業名	別府こどもおもてなし隊
日程	7月(予定)
予算	¥30,000
内容	自分たちでおもてなし方法を考え実現する事業
4. 事業名	サマースクール
日程	8月(予定)
予算	¥100,000
内容	別府市内の様々な体験を通し、郷土愛と挑戦力を育む機会を設ける
5. 事業名	子供たちとクリスマスソングを歌う会
日程	12月下旬(予定)
予算	¥600,000(内補助金¥600,000)
内容	クリスマス花火ファンタジア内にて、子供・市民・故郷が一体となる事業